

学校名 ときがわ町立明覚小学校
所在地 比企郡ときがわ町関堀65番地
電話 0493-65-0373

1 本校の概要

全校児童 158 名の明覚小学校は、明治 6 年に開校され、今年度に創立 150 周年を迎えた歴史の深い学校である。学校教育目標は、「明覚」の頭文字から「**明**るい子 **か**んがえる子 **く**じけない子」とし、家庭や地域の方々から信頼された「地域に誇れる学校」を目指して日々の教育活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書月間

10 月から 1 か月半、次のような取組を行った。

○図書委員会による児童集会

- ・ 読書月間に行われる児童集会で図書委員会は、全校児童に向けて読み聞かせを行った。

○オススメ本の紹介

・ 各々がオススメする本を絵と文で紹介し、学年の廊下に掲示した。又、教員からもオススメ本を紹介し、ブックランドには置いていない本への興味関心を高めた。… (写真 ①)

① オススメ本の紹介



○読書の木の作成

・ 各学年で読書の木を作成し、その木に児童が読んだ本を葉として貼り付けている。そのため児童は多くの本に触れる機会が増加した。… (写真 ②)

② 読書の木



イ 地域の方からの本の寄贈

○ときがわ町内の小中学校に地域の方から本を寄贈していただいている。各学年 2 冊、学級図書として活用している。

ウ 読み聞かせボランティアによる対面読み聞かせ

○新型コロナウイルスの影響もあり、1 学期までは、給食の時間に放送で読み聞かせをしていた。しかし、2 学期からは木曜日の昼休みに、ブロック毎で対面読み聞かせを行っている。また、行う場所を学校図書館にすることで、普段学校図書館に訪れない児童の動機付けにもなっている。… (写真 ③)

③ 対面読み聞かせの様子



エ 学校図書館の内装

○図書ボランティアの協力もあり、2 学期からマットを学校図書館後方に置き、リラックスした姿勢で本を楽しめるスペースを確保した。… (写真 ④)

④ 学校図書館後方



3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書月間を通して、子どもたちが隙間時間を読書にあて、多くの本に触れることができていた。週 1 回行う読み聞かせの成果として、読み聞かせで使った本はよく児童の話題に上がるなど、本に対する興味が高まった。

(2) 課題

読書月間中は、読書を積極的に行うことができていた反面、読書月間を終えると読書に対する意欲がかなり薄れてしまっていた。また、学年が上がるにつれ読書に対する意欲が二極化してしまっている。

(3) おわりに

今年度の読書月間は昨年度より取組期間を延長し、児童は、より多くの本に触れていた。学校図書館後方に設置したマットの使用法は児童にまだ定着していないため、少しずつ周知を行い定着させていきたい。